

科目名 (英)	高齢者の心理と支援 Geriatric Psychology and Assistance	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】</p> <p>現在の、そして今後の人口動態推移から見て、鍼灸師として高齢者に関わることは必然と言える。実際、高齢者施設や自宅への訪問施術を行う治療院は増加しており、2018年からは機能訓練指導員の資格要件にはり師・きゆう師が加わり、高齢者分野における職域が拡大している。そうしたことを踏まえ、対象者理解を深め、対応力を磨く実践の場として、2年次後期に「臨床実習Ⅰ」において、高齢者施設への実習が設定されている。本科目は、高齢者を取り巻く社会環境について理解を深めるとともに、実習に向けての準備として、対象者理解、施設理解、他職種(福祉職種)理解を促す為に必要な知識や思考について、実際の福祉職種の方との交流やグループワークを取り入れながら講義する。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>将来、はり師、きゆう師として関わることを想定し、高齢者の身体的・精神的特徴や高齢者を取り巻く環境を理解し、高齢者とのコミュニケーションの基礎を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標①身体的疾患や障害、認知機能障害などにより要介護状態となった高齢者の身体的特徴、及び接する上で配慮すべき点が説明できる。</p> <p>目標②介護保険制度上の福祉施設の概要、及び施設で従事する福祉職種の概要について説明できる。</p> <p>目標③今後のキャリアを想定して、高齢者を取り巻く社会環境における鍼灸師の位置付け(役割)について、自身の意見を述べられる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	あなたの中の「高齢者」とは？～「高齢者」について知ってること、知らないこと、抱いているイメージなどを整理する～
2回目	「少子高齢化社会」の何が問題？～今の日本、これからの日本を考える(問題点の抽出)～
3回目	「少子高齢化社会」をどう生きる？～これからの日本を考える(解決策の検討)～
4回目	「地域包括ケアシステム」とは？～これから国が目指そうとしている社会を知る～
5回目	「老化」とは？～加齢に伴う心理的变化を知る～
6回目	「老化」とは？～加齢に伴う身体的変化を知る～
7回目	「福祉」とは？～日本の福祉制度、福祉施設について知る～
8回目	「福祉」の仕事とは？～福祉に従事する職業を知る、福祉の専門職の方へのインタビュー内容を考える～
9回目	「福祉」の視点とは？～福祉の専門職の方へのインタビュー～
10回目	「実習」に行くとは？～実習生に求められる姿を知る、実習経験者へのインタビュー内容を考える～
11回目	「生活」とは？～生活について深く掘り下げ、「生活者」としての高齢者を考える～
12回目	「尊厳」が傷つくとは？～「尊厳」の意味を理解し、高齢者の尊厳について考える～
13回目	「高齢者とのコミュニケーション」～要介護状態の方とのコミュニケーションにおける注意点を知る～
14回目	「実習」に行くとは？～実習経験者へのインタビュー内容発表～
15回目	鍼灸師と福祉分野の実際
準備学習 時間外学習	この科目では、事前の準備学習はさほど必要ではありません(一部、身体疾患について「臨床医学各論Ⅰ」で学んだ知識の予習が必要)。各目標について、2月のデイサービスでの実習を見据え、知っておかなければならない知識の復習(定期試験への対策)と、実践に必要な思考の整理(課題レポートの作成)を、各授業終了毎に行いましょう。
評価方法	成績の評価は、『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	